

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	毎年2月末日
定時株主総会・期末配当 (中間配当)	毎年8月31日 なお、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに記載いたします。 <a href="https://www.twinbird.jp/">https://www.twinbird.jp/</a>
上場取引所	東京証券取引所

### ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### ●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 株式会社ツインバード

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田字潟向2084-2  
TEL.0256-92-6111 FAX.0256-92-7582



心にささるものだけを。



第61期

報告書

2022年3月1日～2023年2月28日

株式会社ツインバード

証券コード 6897

## ■ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第61期（2022年3月1日から2023年2月28日まで）の事業概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループは2020年4月に公表いたしました中期経営計画として、「TWINBIRDブランド価値向上」「経営品質の向上」「成長事業の進展」を基本戦略に掲げ、事業構造を筋肉質に転換し財務体質を強化するとともに、成長事業（FPSC事業）の進展に向けた取り組みを進めてまいりました。

当期を振り返りますと、新型コロナウイルス用ワクチン運搬庫の大型需要の一巡に加え、サプライチェーンの脆弱化や原価高騰及び急激な為替変動などの影響により、上期は損失を計上しました。一方、下期は、販売価格の改定、中型冷蔵庫などの大型新製品の投入及び拡販、大幅な原価低減などを実行した結果、収益性が改善し、前年同期比増収増益を達成いたしました。しかしながら、当第4四半期連結会計期間において家電製品を含む耐久消費財の需要が低迷したことにより、通期業績は当初計画値に届かず前期より減収減益となりました。この結果、当社グループの当連結会計年度における売上高は10,930百万円、営業利益は40百万円、経常利益は143百万円、当期純利益は69百万円となりました。

進行期においては、通年で収益性改善の効果が継続する見込みであり、引き続き新製品開発やブランディング活動、DX投資、FPSC事業の技術開発など大胆な戦略的投資を実行することにより、事業のサステナビリティの向上を目指してまいります。

家電製品事業におきましては、本質的な豊かさを創

造する「ライフスタイルメーカー」として、より良い製品体験を通じてツインバードのファンを増やすことにより、お客様のライフバリュー最大化を図りつつ、寄り添うお客様に向けた重点商品カテゴリーのラインナップ拡充やシリーズ化により、事業の顧客価値向上を目指します。さらに、サプライチェーンの見直しや強靱化により円滑な商品供給を実現し、収益基盤の確保を図ります。

また、FPSC事業におきましては、従来から取り組んできた4分野（医薬、化学、計測、物流）の進展に加え、新型コロナウイルスワクチン接種における継続的なビジネス機会として取り組むとともに、2015年パリ協定採択を契機とした世界各国での脱炭素への動きの加速を受けて、省電力・低排熱・フロン不使用といったFPSCの優れた省エネ性能を活かし、脱炭素に貢献する次世代の産業用冷却装置として需要の開拓を進めてまいります。

当期は、中間配当3円、期末配当10円として、1株当たりの年間配当13円（記念配当を除き前期比1円増配）といたしました。次期の配当予想については、1株当たりの年間配当13円を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年5月



株式会社ツインバード  
代表取締役社長  
野水重明

## ■ 事業の概況 — 当期の業績と次期の見通し (2022年3月1日～2023年2月28日)

### 当期の業績

当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルスワクチン接種に伴うワクチン運搬庫の大型案件の需要が一巡、サプライチェーンの脆弱化や原価高騰及び急激な為替変動などの影響で上期は売上高4,805百万円（前年上期7,080百万円）、営業利益は480百万円の損失となりました。一方、下期は、販売価格の改定、中型冷蔵庫などの大型新製品の投入及び拡販、大幅な原価低減などを実行した結果、売上高6,124百万円（前年下期5,789百万円）、営業利益521百万円を計上して前年同期より増収増益を達成いたしました。しかしながら、当第4四半期連結会計期間において家電製品を含む耐久消費財の需要が低迷したことにより、通期業績は当初計画値に届かず前期より減収減益となりました。この結果、当社グループの当連結会計年度における売上高は10,930百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は40百万円、経常利益は143百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は69百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①家電製品事業

家電製品事業におきましては、サプライチェーンの脆弱化や原価高騰及び急激な為替変動などの影響で、上期は大きく減収減益となりました。下期は販売価格の改定、中型冷蔵庫などの大型新製品の投入及び拡販、大幅な原価低減などを実行した結果、損益分岐点を改善するも、通期業績は当初計画値に届きませんでした。この結果、家電製品事業の当連結会計年度における売上高は10,137百万円（前期10,658百万円）、セグメント利益は822百万円（前

期847百万円）となり、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント損失79百万円から黒字転換を実現しました。

※家電製品事業に関する四半期業績の特性について

家電製品事業につきましては、年末年始商戦や新生活商戦における販売需要が最も多くなるため業績に季節的変動があり、売上高及び利益は第4四半期連結会計期間に集中する傾向があります。

#### ②FPSC事業

FPSC事業につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種に伴う大型案件の需要が一巡し、前期より大きく減収減益となりました。ワクチン運搬庫のリフレッシュサービスなど需要のすそ野が広がり、コロナ禍前（2019年度）と比較して売上増加傾向にあるものの、減益影響のカバーには至っておりません。一方、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種に向けて、前期に引き続きワクチン運搬庫のメンテナンス（リフレッシュサービス）を3千台（総累計約9千台）受注し、昨年12月までに出荷を完了しております。この結果、FPSC事業の当連結会計年度における売上高は793百万円（前期2,211百万円）、セグメント利益は205百万円（前期906百万円）となりました。

### 次期の見通し

（通期個別業績予想）

売上高	11,000百万円	（当期実績	10,838百万円）
営業利益	300百万円	（当期実績	42百万円）
経常利益	260百万円	（当期実績	147百万円）
当期純利益	180百万円	（当期実績	57百万円）

当社は、2024年2月期より非連結決算に移行するため、連結業績予想を開示せず、個別業績予想を開示することといたしました。

■ 連結財務諸表（第61期）

■ 連結貸借対照表

科 目	前期末	当期末
	2022年2月28日現在	2023年2月28日現在
<b>資 産 の 部</b>		
流動資産	6,303,194	6,183,046
現金及び預金	1,391,413	918,185
受取手形及び売掛金	1,679,771	-
受取手形	-	158,537
売掛金	-	2,043,988
商品及び製品	1,968,448	1,607,251
仕掛品	427,287	382,176
原材料及び貯蔵品	457,455	575,848
その他	386,090	497,577
貸倒引当金	△7,273	△517
固定資産	4,818,302	4,953,531
有形固定資産	3,927,381	3,892,507
建物及び構築物（純額）	1,213,434	1,197,636
機械及び装置（純額）	120,364	92,831
車両運搬具（純額）	4,142	2,742
金型（純額）	143,063	299,734
工具、器具及び備品（純額）	113,527	139,325
土地	2,070,465	2,070,465
リース資産（純額）	129,825	86,508
建設仮勘定	132,556	3,263
無形固定資産	181,040	381,242
投資その他の資産	709,879	679,781
投資有価証券	305,824	322,645
退職給付に係る資産	144,495	29,635
繰延税金資産	200,116	308,193
その他	88,724	48,496
貸倒引当金	△29,281	△29,189
資産合計	11,121,496	11,136,578

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。  
61期より収益認識会計基準を適用しております。

(単位：千円)

科 目	前期末	当期末
	2022年2月28日現在	2023年2月28日現在
<b>負 債 の 部</b>		
流動負債	2,120,880	1,921,618
支払手形及び買掛金	139,979	273,897
短期借入金	-	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,190,322	230,000
リース債務	94,611	84,315
未払法人税等	169,682	17
未払消費税等	4,762	-
契約負債	-	286,609
賞与引当金	69,908	69,766
株主優待引当金	3,779	7,263
製品補修対策引当金	28,069	26,354
事業構造改善引当金	21,070	-
その他	398,693	543,394
固定負債	298,774	918,201
長期借入金	-	690,000
リース債務	189,917	105,984
役員株式給付引当金	51,700	63,460
資産除去債務	20,100	20,100
その他	37,056	38,657
負債合計	2,419,654	2,839,820
<b>純 資 産 の 部</b>		
株主資本	8,232,896	7,901,640
資本金	2,507,094	2,517,279
資本剰余金	2,602,347	2,612,497
利益剰余金	3,231,623	2,880,033
自己株式	△108,169	△108,169
その他の包括利益累計額	468,945	395,117
その他有価証券評価差額金	102,744	117,556
繰延ヘッジ損益	115,155	73,155
為替換算調整勘定	43,098	49,129
退職給付に係る調整累計額	207,945	155,276
純資産合計	8,701,841	8,296,758
負債純資産合計	11,121,496	11,136,578

■ 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前期	当期
	2022年3月1日から 2022年2月28日まで	2022年3月1日から 2023年2月28日まで
売上高	12,869,925	10,930,171
売上原価	8,341,451	7,468,609
売上総利益	4,528,473	3,461,561
販売費及び一般管理費	3,809,143	3,420,631
営業利益	719,329	40,930
営業外収益	63,715	137,648
営業外費用	172,922	34,829
経常利益	610,123	143,749
特別利益	7,444	-
特別損失	41,946	15,725
税金等調整前当期純利益	575,621	128,023
法人税、住民税及び事業税	218,155	13,466
法人税等調整額	△61,860	44,763
法人税等合計	156,294	58,229
当期純利益	419,326	69,793
親会社株主に帰属する当期純利益	419,326	69,793

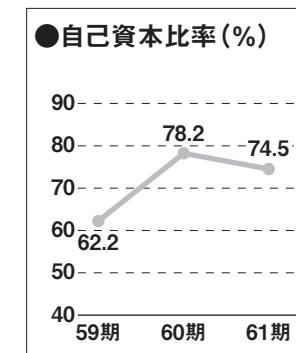
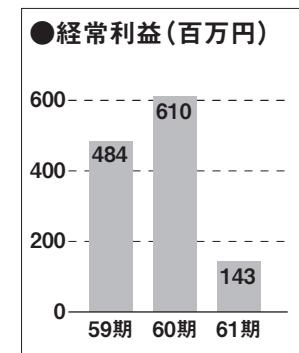
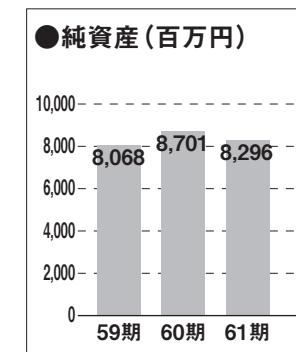
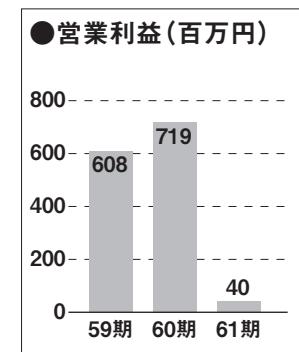
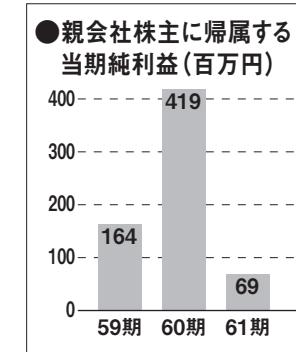
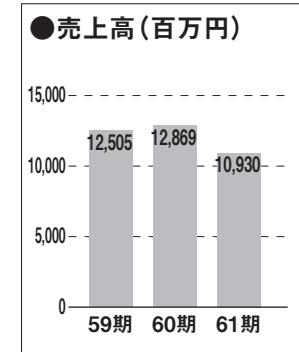
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。  
61期より収益認識会計基準を適用しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前期	当期
	2022年3月1日から 2022年2月28日まで	2022年3月1日から 2023年2月28日まで
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,517,606	118,862
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△524,390	△489,578
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,985,289	△135,789
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	12,218	38,777
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△979,854	△467,728
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	1,989,568	1,009,713
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	1,009,713	541,985

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



## トピックス

### ■日本クリエイション大賞「大賞」ならびに 新潟県知事表彰「新潟県技術賞」受賞！

当社のFPSCを開発した技術力、ならびにそれを搭載した新型コロナウイルス用ワクチン運搬庫の短期間の増産体制整備が高く評価され、この度二つの栄えある賞を受賞いたしました。

今後も当社の技術を活かし、国内外で事業を成長させてまいります。



※日本クリエイション大賞とは、日本商工会議所および東京商工会議所が母体となって設立された、一般財団法人日本ファッション協会主催の顕彰事業で、ジャンルを問わずクリエイティブな視点で生活文化の向上に貢献し、次代を切り拓いた人物や事象などを表彰対象としています。

### ■中身が見える冷蔵庫 HR-EI35B ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール2023「優秀賞」受賞！

中身が見える冷蔵庫は「感動シンプル」ブランドラインの戦略的新商品 第2弾として、2022年11月に発売した商品です。ドアを開けずに冷蔵庫の中身が見える“タッチ&ビュー機能”と、高さを抑えたどなたでもお使いいただきやすいデザインによって、多くのお客様からご好評をいただいております。

触れるだけで中身が見える“タッチ&ビュー機能”▶



## 会社概要／役員の状況／株式の状況

### ■会社の概況（2023年2月28日現在）

創 業 1951年3月1日  
 設 立 1962年4月17日  
 資 本 金 25億1,727万円  
 従 業 員 数 297名  
 事 業 内 容 家庭用電気機器・家庭用照明器具・  
 理美容健康器具・電気音響機器の  
 製造販売  
 FPSC及びその応用商品の製造販売

### ■役員の状況（2023年5月26日現在）

代 表 取 締 役 社 長	野 水 重 明
専 務 取 締 役	佐 藤 勉
取 締 役	浅 見 孝 幸
取 締 役	河 村 吉 章
取 締 役	渡 邊 桂 三
社 外 取 締 役	加 藤 善 孝
社 外 取 締 役	萩 原 貴 子
社 外 取 締 役	田 中 通 泰
取 締 役（監査等委員）	小 林 和 史
社外取締役（監査等委員）	駒 宮 隆 也
社外取締役（監査等委員）	小 村 博 隆
執 行 役 員	井 上 淳 一
執 行 役 員	渡 邊 英 次
執 行 役 員	上 野 朗 剛
執 行 役 員	宮 井

### ■株式の状況（2023年2月28日現在）

- ①株式数 発行可能株式総数・・・34,000,000株  
 発行済株式の総数・・・10,878,600株  
 （自己株式14,584株を含む）
- ②株主数・・・15,198名
- ③大株主（上位10名）

株 主 名	持株数	持株比率
		%
株 式 会 社 双 栄	1,459	13.44
ツインバード従業員持株会	327	3.02
株式会社日本政策投資銀行	276	2.54
野 水 重 勝	270	2.49
株式会社日本カストディ 銀行（信託口）	253	2.34
野 水 敏 勝	178	1.64
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	123	1.14
株式会社第四北越銀行	109	1.00
あいおいニッセイ同和 損害保険株式会社	106	0.98
野 水 御 富 士	106	0.98

持株比率は自己株式（14,584株）を控除して計算しております。  
 （表示単位未満の端数を持株数は切捨て、出資比率は四捨五入しております。）

### ■本社及び主要な支社・支店・営業所等

本 社	〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田字瀧向2084-2 TEL.0256-92-6111 FAX.0256-92-7582
東京支社	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 ツインバード日本橋ゲートオフィス TEL.03-3663-8771 FAX.03-3663-8640
大阪支店	〒540-0034 大阪市中央区島町2-4-9 島町第2野村ビル4階 TEL.06-6946-0811 FAX.06-6946-0833
新潟営業所	〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田字瀧向2084-2 TEL.0256-92-6119 FAX.0256-93-4422
名古屋営業所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-14-32 丸の内三丁目ビル3階 TEL.052-231-7551 FAX.052-231-4221
福岡営業所	〒812-0025 福岡市博多区店屋町6-25 オクターブ店屋町ビル7階 TEL.092-281-2600 FAX.092-281-2601